



月刊 さいとう健けん

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主

発行所: 自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行
住所: 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話: 03-3581-6211(代表) ホームページ: <http://www.jimin.jp/>

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。

大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。

零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。

日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。

平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。

平成21年衆議院総選挙において、初当選。4期目。環境大臣政務官、

党副幹事長、党農林部会長、農林水産副大臣、農林水産大臣を経て、現

在、衆議院予算委員会理事としてコロナ対策などの予算成立に奮闘中。

〔趣味〕ハンドボール、カラオケ、読書、映画

〔好きな食べ物〕ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

〔尊敬する人物〕高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎

号外

令和2年11月1日発行

「新型コロナウイルスへの対応」

現在、新型コロナウイルスへの対応に全力を傾けているところではありますが、本月刊では感染症そのものについて考えてみたいと思います。

まず、表をご覧くださいければと思います。

表 21世紀の主要な感染症健康危機

2003年	SARS(急性重症呼吸器症候群)
2005年	H5N1 高病原性鳥インフルエンザ
2009年	H1N1 新型インフルエンザのパンデミック
2012~14年	MERS(中東呼吸器症候群)
2014~16年	エボラウイルス感染症(西アフリカ)
2014年	デング熱 日本国内流行
2015~16年	ジカウイルス感染症
2018~20年	エボラウイルス感染症(コンゴ民主共和国)
2020年~	新型コロナウイルス感染症のパンデミック

ウイルスが人類を襲うかわかりません。さらには、既知の病原体であっても実は世界的に薬剤耐性が強まってきており、薬が効かなくなる事態も想定され、昨年公表された国連の報告書では、このまま対応を取らなければ、2050年には世界で一千万人が死亡すると言われております。(裏面につづく)

21世紀に入ってからだけでも、これだけの感染症危機が世界を襲っております。都市に人口が集中し、一方で開発が進んで未知のウイルスに出会う可能性が高くなり、人々が国境を越えて往来し、高齢化が進む。こういう世界の情勢を考えますと、今回の新型コロナウイルスが終息したとしても、いつまた新しい

コラム「さいとう健の新しいポストについて」

この時期国会議員の人事が行われますが、さいとう健は次の仕事をするようになりました。

衆議院予算委員会理事: 花形委員会の予算委員会の運営に携わりテレビに映ることも多くなります。

衆議院憲法審査会幹事: 引き続き、国会で憲法論議を進めるための舞台回しに汗をかきます。

衆議院農水委員会理事: 大臣経験者として法案の成立に尽くします。

自民党オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部幹事長: 来年の実現に向けての自民党側での責任者の一人です。

流山市倫理法人会 令和3年度活動報告会



新しい生活様式での行事・イベントが順次再開。

こう考えますと、さいとう健はまず、感染症というものを、地震などの自然災害や、大規模事故、テロや武力事態などと同様に、安全保障・危機管理の対象としてしっかりと位置付けたうえで、平時からの備えと有事の際の危機管理対応に万全を期すべきと考えます。

新しい感染症が認知されたときには、検体を採取分析して正体を突き止め、ワクチンを開発し、治療薬を開発しといったことはもとより、検査体制、情報収集体制、医療・隔離体制などなどの構築、正確な情報提供、国際的な連携など、実に広範な対応が必要であり、そういう意味では、地震や自然災害などより、高度な知識と広範な対応が必要といってもいいと思います。今回の経験を最大限生かしながら、危機管理体制としてしっかりとしたもの構築していかなければなりません。

一つだけ例を挙げます。今回の新型コロナウイルスへの対応の際にも露呈しましたが、国と自治体の役割分担の見直しです。わが国の感染症法体系は、明治30年の伝染病予防法以来120年間、地方自治体が感染症を抑え込むことを基本としてきており、中央政府が自治体に対して指揮命令を行う体制になっておりません。いざというときには、国による明確な指揮命令系統を構築しておくことが急務です。

このように、やるべきことは山積みです。今回の新型コロナウイルス対策に露呈した様々な問題を整理して、熱の熱いうちに法改正を含めた抜本的な対策を講じていかなければならない、さいとう健はそう決意しております。



新型コロナに関する今後の見通しについて講演。

自民党内に危機感の薄れ

『令和二年十月十六日 朝日新聞朝刊 十五面』



1959年生まれ。経済産業省や埼玉県副知事を経て2009年から現職。石破派で、安倍政権で農水相を務めた。

さいとう 健さん

衆院議員

2009年に初当選した直後に、当時の自民党政調会長だった石破茂さんに党部会長に抜擢してもらいました。安倍政権で農林水産相に就きましたが、石破さんにも恩義があります。前首相は優れた政権運営をしてきましたが、未来永劫ではない。次は国民的人気のある石破さんが首相になるのではないかと。だから、その時代をより良きものにしなければならぬと思いい、応援してきました。

今回、首相となった菅義偉さんの勝利を決定づけたのは、雪崩を打って支持にまわった派閥の動きでした。メディアはこの動きを「派閥の復権」ととらえ、自民党の国会議員は「長いものに巻かれた」として、不健全な組織だとも非難しました。

ただ、私は5派閥の動きが一概に悪かったとは思いません。

2009年の世論調査でも菅さんが多くの国民の支持を得ていました。民意が、「路線変更」を訴えた石破さんよりも、「安定」の菅政権を求めたのだと考えています。

また、自民党が「組織として不健全」とはいえないと思います。政党は会社のような厳然たる指揮命令系統を持っているわけではありません。議員は、自分を選んだ選挙民の意向を尊重しなければならぬのです。そういう目で見れば、今回の議員の行動もわからないわけではない。さらに「派閥の復権」というより派閥によつては菅さんでまとめることが、派の結束を維持する上で必要だったという側面もあったように思います。

なぜ自民党の体質は「長いものに巻かれる」だと、言われるのか。専門家は小選挙区比例代表並立制が導入さ

メルマガさいとう健
名前・住所の登録不要。
月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。
返信すれば匿名で意見を伝えられます。
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

～ 後援会入会はコチラまで ～
さいとう健 後援会事務所(流山おおたかの森駅 北口すぐ)
〒270-0119 流山市おおたかの森北1-5-2セレーナおおたかの森2階
TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp
さいとう健 国会事務所
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221